

「昭和九年5月--14年3月」の1冊 = CDで全195コマ。 昭11 = 66 - 93コマ  
66コマ目

昭和11年1月1日(水)空晴れて初日が高々と輝く。

午前九時一同そろって雑煮をいただく。午前中、年始回り。

夜網走の刑務所医の舎の先輩、笹部三郎氏御集会。御菓子を頂き、色々興味深きお話をきく。

1月2日(木)朝早くより賑し。植岡君元気になる。夜、大いに雪融る。

1月3日(金)康、植岡、田村、花島の諸君、円山方面へゲレンデスキーに行く。植岡君、大いにへばって帰る。

1月4日(土)本日手稲へ打ち連れてシーファーレンする筈であったが、風強く中止す。田村君、三段へ登行す。

1月6日(月)花島、植岡、康、若松の諸氏、山の家へ一晩行で元気にて出発す。山根君、風邪の由。

1月7日(火)スキー行の諸氏、へばって帰る。山根君、起床す。夜玉山君帰舎す。

1月8日(水)予科第3学期授業開始。

1月9日(木)山根君、未だ臥床。

1月10日(金)花島君砥石へ出掛る。

1月11日(土)暖し。辻君父君病篤しの報、急ぎ夕方の急行で帰省す。夜、池谷、平山、柳川の3君帰舎す。

1月12日(日)暖し。辻君父君経過良しの電報で長万部より引返し、早朝帰舎す。そのままハイルングに向われるという。大鐘君風邪のため医者を呼ぶ。かなり重い様子。感冒流行の由、注意したきものあり。

67コマ目

植岡君、札幌岳を征服、元気で帰る。舎生、中島にて行われた全道中等学校スケート競技会見物に出かけたものあり。午後みぞれふる。暖気盛んにして、雪の解けんことを心配す。

1月13日、朝より雪振りて風強し。昼頃、桜林さん帰舎。昨夜雨降りて路氷りて滑りて歩行困難。夜、谷口さん帰舎。

1月14日、朝より大雪、、、本格的の冬だ。積雪1尺余。電車不通なれども平山、木村、藤田(康)、谷口の諸君徒歩で円山へ。大鐘さんまた病気に臥床。

1月15日、曇。朝より風強し。藤田一さん帰舎。此にて全舎生揃う。夜、藤田さんのところでお茶を頂く。辻さん、お父さん病篤しときよて、本日9時に帰省。大鐘さんの所に医者来る。経過よきとの事。

1月16日、夜来の雪にて相当に雪積り、舎生スキーヤー遠征しきり。夜しるこ出る。

1月17日、本日、若松、桜林両君小別沢方面、田村、柳川、平山諸君、三角山方面へ。何れもスキーに。大鐘さん、しばらく振りにて本日食堂にあらわる。お目出度い。

1月18日、晴。舎生スキーに出動するもの多し。辻さんよりお手紙にて無事「燕」にて岡山に向かわれたとの事。

北大、全国学生スキー大会、耐久で1等及び5等を取る。

1月19日、晴。田村、平山両新人、春香山へ。午後スケート見物に出かける者多し。

68コマ目 2007.05.12

玉山君本日より書道研究に。両工科マンの卵、書道への精進、何に感じたか、時節柄感心？

池谷、玉山両君、写真に理学部へ。植岡さん風邪全快、食堂に出て来る。

1月20日、柳川、本日欠席。田村、平山両君、スキー教練。

1月21日、藤田一さん風邪気味。夜雪降る。谷口君スキー教練に円山へ。

1月22日、「櫓の音」原稿用紙配布。スキーに出かけるもの多し。

1月24日(曇)本日1月分決算、一日55銭

1月25日、スキーに三角山に出掛けるものあり、リーダー桜林君。

夜宮部先生の所に招待さる。出席する先輩、奥田、前川、犬飼、山口、大鐘、の諸氏。宮部先生より御講書始の議についてのお話あり。後カルタ、トランプ、コリント等の遊びに夜ふくるまで戦ふ。皆腹のふくるまで御馳走を頂く。木村君県人会出席のため、途中より退出。

1月26日(雪)朝より夜おそく迄降りしきる。若松氏をリーダーに花島、田村、平山、谷口の諸君、手稲山へ。寄宿舎前のスロープ朝より大賑い。

1月28日 平山君、風邪にて臥床。

1月30日 本日より平山君起き出す。

1月31日 3時頃より猛烈な吹雪。田村君スキーを円山で折ってかえる。藤田、花島両理学部生、手稲へ。7時頃、無事かえる。

69コマ目 / CDはカラー撮影 / 2007.05.12

2月4日 辻さん本日帰舎。

2月6日 本日恒例の手稲行。平山、池谷、山根、辻4君欠席。8時7分札幌発、3時37分札幌着。一行頗る元気にて意気大いにあがり愉快。

学校にては創立記念日。欠席の4君登校。

2月7日 賄の爺さん病氣。

2月9日 日曜日なれどもスキーに行く者少なし。植岡氏風邪。

2月11日 藤田一氏外4名。学校の年賀式出席。藤田康、木村、谷口氏、空沼へ一晩泊す。若松氏外、円山ゲレンデへ。原稿集り悪し。

2月12日 山へ行った3氏、元気で帰る。

2月13日 桜星会送別会。予科生菓子をもらいに講堂へ。一次限後集会、昼頃解散

2月14日 本日「櫓の音」発行

2月16日 温暖にて雪解け甚し。

2月17日 月次会委員、決定。植岡、平山、玉山、池谷の諸君。

2月19日 夜より雪降り。終に吹雪となる。

2月20日 一日中雪と吹雪。総選挙だ。各々国旗をかかぐ。政か民か、国民の審判の下る日だ。

2月21日 一昨日よりの雪で交通杜絶。時にもの凄く吹雪いてくる。数年来の雪との事。

70コマ目 07.05.13 toko

2月22日 雪、本日は三学期の月次会を兼ねて卒業生送別会を開く。5時より委員の努力になる晚餐を開き、引き続き例会に移る。舎生は各々立って両藤田君に送別の辞をお

くり、次いで先輩、広瀬、金森両氏の送別の辞。終って両藤田君の答辞があった。次に来年度副舎長選挙の結果、若松君 15 票中 13 票の総体[ママ]多数にて当選。宮部先生の訓話及び送別の辞の後茶菓の饗応があり 10 時に散会。散会后、辻君より一身上の問題についての話があった。

2月23日(晴) 久し振りの晴天。雪が猛烈にとける。電車不通なる故頗る静かなり。木村、植岡両君、円山へ。若松、藤田康、花島の諸君、春香山へ夫々スキーに出かく。

2月25日(晴) 夕食後特別室にて決算をする。一日食費 49 銭。

2月26日(晴) 本日昼頃、各大臣帝都に於て暗殺さるとの流言とぶ。夜になりて益々真実性を加へ遂に青年将校等集りて岡田首相、高橋蔵相、斎藤内府、鈴木侍従長、広田大将等を暗殺し更に朝日新聞、警視庁、牧野前内府をおそって、帝都は戒厳令布かる。寄宿舎にあっては軍部横暴の声盛にあがり夜 12 時迄国本を憂ひて 8 号室に会しニュースをききながら談論風発、ファッション反対の声あがる。〔いわゆる 2・26 事件の勃発〕

71 コマ目 2007.05.13

2月27日(晴) 人心落ち着かず。其の暴動の意外に大なる事、漸次判明する。世は正に非常時局へ。全く寒心すべき世情だ。

2月28日(晴) 未だ帝都の動乱おさまらず人心恐にたり。予科生試験近づき頑張る。

2月29日(晴) 帝都に戦火起らんとす。反軍勅命を奉しざるをもって愈々討伐に決し帝都の市民に対して立退きを命ぜらる。然し昼頃より、兵火を交へずして帰順者あらわれ大した抵抗なく、兵火の惨を見ずして午後 4 時頃鎮定とのニュースあり。夜、即死した筈の岡田首相俄然生存しておる事がわかる。首謀者安藤大尉外 15 名免官になる。

3月1日(曇後晴) 3月といふに北国は寒い。朝より雪が降って居る。若松、藤田(康)桜林の諸君、円山方面にスキーしに出掛けるも予科生、雪に背いて[?ママ]猛勉。

3月2日(晴)

3月3日(晴) 予科臨時休業。植岡さん試験始る

3月4日(晴) 予科試験始る。舎の先輩、近藤七郎氏逝去と副舎長より通告あり。

3月5日(雪後晴) 本日夕食後、来学期委員選挙の結果次の諸君当選。

食事部、田村・大鐘両君 文芸部、池谷君 会計部、植岡君

衛生部、玉山君 運動部、平山君

猶引き続き室の割り当てを左の如く決定

72 コマ目 2007.05.13

二号室...辻君 三号室...田村・玉山君 四号室...柳川・池谷君 五号室...大鐘君

六号室...山根君 七号室...木村君 八号室...植岡君 九号室...桜林君 十号室...花島君

十一号室...平山君 十二号室...谷口君

本日、広田前外相に大命降下せり。

3月6日 広田氏、内閣を組織。陸軍の反対ニアヒテ流産す。

3月7日 本日夜 9 時 19 分に藤田康氏、六年間遊学の地より離れ故郷に錦を飾る。舎生一同駅迄見送る。

3月9日 本日午後 9 時 17 分に平山、柳川、池谷、田村君、帰省。

3月10日 比較的寒し。予科生 4 人帰省し舎内森閑。本科マン青白い顔をして試験準備に忙し。木村君製図にて深更まで頑張る。

夕、若松、藤田、新旧副舎長、宮部先生の御招待を受けお宅に伺う。

3月11日(水)晴。最近は晴天続きにて雪も盛に溶ける。

朝の列車で玉山君帰省。花島、木村、谷口君、春香山へ行く。夕の急行にて若松君、見学旅行に出発。すこぶる元気なり。

3月12日(木)晴、暖かし。朝の急行で木村君帰省。山根、植岡、辻君は試験。

73コマ目

3月13日(金)晴。夜、雨降る。山根君試験完了。

3月14日(土)曇。朝の急行にて大鐘君帰省。夕の急行で桜林君帰省。

3月15日(日)曇。辻、植岡君、一日中勤勉なり。

3月16日(月)晴。山根君、製図。植岡、辻君試験。花島君、朝の急行で帰省。途中、学友と蔵王に登る予定。

3月17日(火)植岡、辻君試験完了にて朗かなり。雪、益々溶け、夜に入って風吹き始む。そろそろ馬フン風の来訪か。

3月18日(水)寒し。雪降る。辻君、親戚御病人有り、帰省或いは延期さるかと思われしも、予定の如く、明朝出発に決定。

植岡、山根君は製図、藤田君論文審査終了。大橋徳司君より拓務省に就職されし御通知あり。

3月19日(木)朝の急行にて辻君帰省。残るは山根、植岡君、藤田有り。植岡君は製図に懸命。

3月20日(金)藤田、謝恩会で帰舎遅し。

3月21日(土)植岡君最後の努力、完成さす。彼岸中日にて、さすがに暖かなり。

3月22日(日)朝の急行で山根君、見学旅行に出発。

74コマ目

3月23日(月)曇。残る舎生、藤田一人のみ。

3月26日(木)夜、藤田一君、名残を惜しんで札幌を去られ、一路東京に向われたとのこと。

4月6日(月)朝若松帰舎す。天気良し。

4月7日(火)夕方、玉山君帰舎、夜、木村君帰舎す。木村君新角の筈なれど帽子古ければ旧角の如き見ゆ。

4月8日(水)朝より畳を表返す。午後、予科合格者へ入舎勧誘状出す。予科、学部共に本日始業式。

4月9日(木)朝谷口君帰舎。舎の畳替え完成。

4月11日(土)朝は四界銀世界なり。気候の変異?道悪し。夜、田村、池谷、平山、柳川の4君帰舎。

4月12日(日)午食後軒下の除雪作業に舎生総動員。後お茶を入れ、副舎長より羊羹を振る舞わる。

4月13日(月)夜、大鐘君帰舎す。

4月14日(火)入舎申込み続々と来る。

4月15日(水)在舎生が少ない、その上今日は映画見学に行く者が多かったので舎内は殆ど物音もない。舎生の帰札が待ち遠しい。

4月16日(木)昼前奥田さん(先輩)に連れられて細川弘君(医類1年、釧路中出身)入舎さる。夕食後4号室に皆でお茶を飲む。如何にも新入生らしく丁寧なお辞儀に面喰う。7時の車で桜林、辻両君帰舎さる。

#### 75コマ目

4月17日(金)朝早く、角護君(医類1、帯広中)、手塚太郎君(工類1、開成中)が入舎。次にと田原正明君(農類1、札幌二中)、大坪艶夫君(医類1、栃木、烏山中)が入舎され、今やフレッシュマン5人となり、新鮮な気分が満ち、急に朗らかに、にぎわしくなった。夕食後歓迎コンパを食堂に開く。自己紹介の自分の趣味は、先輩諸氏は散歩(夜のこたらしい)が多く、新人のは映画が多いようだ。コンパ中、運動部が勧誘に来たのはうるさかった。

4月18日(土)予科新入生、初登校。8時半体操場に集合とのことで平山君等に引き連れられていく。昼、植岡君帰舎。室蘭を過ぎて、見学してきたそうだ。夕食後新入舎生を連れて副舎長、舎長宅に行くはずだったが、嬉しくてか皆外出して居らず、副舎長のみ行く。多くの新しい舎生を舎長先生、非常に喜ばれたとのこと。

4月19日(日)昼食後舎生の殆どは植物園に行く。この日ストーブの取り外しを行う。夜の車で山根、花島両君が帰舎。之で舎生全部揃う。夕食後新入舎生5人若松副舎長に連れられて宮部先生宅に行く。

4月20日(月)予科新入生授業開始。昼頃風強く、被害多く、舎でも賄の厠倒れる。この風邪もまもなく止む。

18日に部屋割及びコンビ定まる。1号室、木村君。2号室、辻、平野君。3号室、玉山、角君。4号室、柳川、田原君。5号室、大鐘君。6号室、平山、細川君。7号室、植岡、谷口君。8号室、田村、大坪君。9号室、山根君。10号室、池谷、手塚君。11号室、桜林君。12号室、花島君。

#### 76コマ目

4月22日(水)先日宮部先生より御紹介があった平野浩也君(理学部地質鉱物1年目)入舎さる。今や舎生20人となる。

4月23日(水)夕食後、決算を行う。3、4月分を分けて計算すると、4月分が88銭位となるので、3、4月一緒にして計算することとした。それで1日61銭強となり、60銭として超過分は舎で補助を行う事としました。それで最高、33円余となり、皆、予算に大混乱を来たしそうだ。決算後、委員で欠食規定を決定した。それは「2日以上の旅行・外泊の場合、朝食喫しても、翌日夕食後帰舎せる者は、2日以上の欠食と認める」、「舎内に起居して欠食するも、欠食と認めない、但し休暇中はこの限りに非ず」、「猶、欠食の場合は前日までに、賄及び文芸部員まで申出られたし」と以上3カ条を決定、発表しました。この決算後、平野君歓迎コンパを行う。

4月26日(日)月次会兼新入舎生歓迎会の委員、山根、辻、木村、田村、柳川の4君と発表された。

4月27日(月)予科2年の諸君、招魂社に参拝の午前中授業なし。同日、学部入学式、並、宣誓式、中央講堂に挙行された。

4月29日(水)早朝桜林、植岡両君スキーに出掛ける。植岡君いとも嬉しそうだ。9時50分から中央講堂で天長節のお式が行われ、多数出席した。式後散歩に行った者も居

た。天長の佳節にふさわしい、よいお天気で、午後、円山方面に行った連中もあり、、、  
円山にもかなりの人出なりし由。

#### 77 コマ目

4月30日(木) 新入生歓迎会を兼ね、第一学期最初の月次会を開いた。

宮部先生始め先輩9人のご出席を得て、にぎわしく、委員の心こもった手料理に、食事を共にした。この夕食後、まもなく、月次会が開かれ、副舎長の挨拶、及、舎生の歓迎の辞。それに続いて、新入生の挨拶があり、先輩のお話があった。お話中、今井〔三子〕先輩が来られた。この月次会に、先生の喜の字の祝いで農学部動物の助教授による映画の撮影があり、先生の生活の一場面として、月次会における先生のお話、並、舎生の拍手が加えられたわけだ。この月次会に次ぎ、例の如く、お茶の会となり、山口先輩の武勇伝等をお聞きした。10時頃先生はお帰りになり、舎生は11時過ぎ散会した。この夜、副舎長室で、副舎長室より、賄を替える事について舎生の意見をたゞした。それで明日、言渡す事となった。「牧笛」の用紙配付。〆切17日夜。

5月3日(日) 早朝、花島君、手稲へ。新調のゾンメルを肩にお出掛け。谷口君も早くからハイキングに。平山、柳川君等、お隣の伊藤さんへ遊びに。〔ゾンメル=山スキー〕

5月4日(月) 前賄が引越しを終わって別れの挨拶が夕食の時より。同時に新賄の紹介があった。心配した程のこともなく、前賄も快く出ていくようだった。

5月5日(火) 予科は桜星会大会で授業は1時限かぎり、10時から工学部傍の広場に新任教官並に新入生歓迎会を催し、12時頃から遊技会になった。舎生でもスプーンレースで平山君が2等、田村君が3等に入り、それぞれ下駄や靴下をもらってにこ／＼顔。曇ってはいたが、降りもせず、予定通り春季大会を終え得たようだ。

8時頃、節句のお祝いで、食事部よりお柏が出た。

#### 78 コマ目 2007.7.14 書取り

5月7日(木) 土曜日から日曜日にかけての春期ピクニックに関して運動部の発表があった。費用は1円60銭で各人学割証が必要とのこと。

5月8日(金) 夜、谷口君からこの度、一身上の都合により退舎なさるにつき、同君から舎生に挨拶があり、同時に離別のコンパがあった。足かけ3年間よく舎のために尽くしてくれた同君が今舎を出られることは、残念にたえないが、都合／付箋で読めず／致し方ない。唯、今は再び近き日に同君が舎に来られて再び／付箋で／下さらんことを望むばかりだ。

5月9日(土) 午後1時40分発の電車で豊平の駅を発つ。植岡、花島、田村3君はスキーを肩に元気なものだ。この一行は植岡、辻、花島、大鐘、平山、田村、柳川、池谷、玉山、大坪、角、田原、手塚、細川の14名で、若松さんは講義があるので後の電車。定山溪駅よりぶらり／＼とリュックを背に一里許りの路を。途中よい景色を観じつゝ行く。植岡、田村両君は途中でスキーをはく。温泉につけば要員以外は仕事もなく、或は碁に将棋に、或は温泉に。夕食のスキヤキをまつばかり。夕食後ジェスチャーなどに笑い過ごせり。

5月10日(日) 朝、植岡、花島両君、スキーに無意根に向う。他は思い／＼に、午後2時頃まで遊ぶ。3時20分ので帰札。スキーに行った連中は遂に電車に遅れる。帰ればすでに谷口君は引越した後。なんだか淋しい。

5月13日(水)予科選手推戴式で2、3時限きえる。此の日、舎の前庭には、宮部先生の指図で植木が入る。植物園の木とかで、珍しい木だそうだ。通行人にいじめられなければよいが。

5月14日(木)文武会春季大会が公会堂に盛大に開かる。午前、平山君、友人の処に行く。

79コマ目 2007.7.12 書き取り

5月15日(金)文武会で休み。

5月17日(日)平山君、夜帰舎。

5月23日(土)石原健氏の特別講演が中央講堂にある。細川君、朝、恵庭の叔父様のお宅に行く。〔石原健氏 - ?〕

5月24日(日)医学部歓迎会、オタモイに開かれ、若松、桜林、大鐘3君行く。恵迪寮祭があり、この日、天気いとも麗らかなり。

5月25日(月)細川君帰舎、昼過ぎ桜林君帰舎。夜、決算、食事部の努力により1日47銭弱となる。皆20円を割る。

5月26日(火)「牧笛」やっと発行する。非難の声高し。

5月27日(水)手塚君、開成中学会に出席。

5月28日(木)予科1年、兵営宿泊に行く。舎内森閑として終う。辻、平山、柳川、池谷君等、舎の東側に芝生を生けるとて、土を起しはじめる。同時に、多年の懸案だった舎前の池、掘れば水の出てくるを確かめ、明日より工事開始する。

5月29日(金)東側の土起し、大半出来る。

5月30日(土)1年生の諸君、元気で帰る。芝生工事、種をまくばかりとなる。、、、

5月31日(日)若松君を始めとして、辻、平山、柳川、池谷、大坪、手塚、田原の諸君、昼食後、伊藤さんのリヤカーを借り得て、勇躍池掘り工事にかゝる。大分、池らしくなってきた。

6月1日(月)理学部から種痘を強制する。

6月2日(火)中央講堂にて林博士、並に永井全権大使の講演があった。

6月7日(日)対高商野球戦が北大グラウンドに行われ、予科惜しくも敗れた。

6月10日(水)農学部よりチブス注射がはじまる。

80コマ目 2007.7.8

6月12日(金)クリーランド元予科教授の講演、中央講堂にある。

6月14日(日)今日より札幌神社祭。午後から平山、柳川、池谷君、月寒種羊場へ。

6月15日(月)今日は全学授業午前中のみ。午後は自由参拝のこと。

6月18日(木)予科生全部と花島、平野両君、明日の明日の日食観測のため夕刻出発する。予科はこのため授業3時間のみ。一行750名とのこと。

6月19日(金)待ちに待った日食の日が来た。人々は、晴れんことを祈るばかりだ。予科で行った川湯では、皆既日食の直前、雲が切れ、充分、コロナの美に見とれる事が出来た。この日札幌は曇り、9分6厘の太陽もじゅうぶん見ることが出来なかった。各観測部隊は、女満別の東京天文台班、並にアメリカ・ジョンソン氏は大成功と、その他各地殆ど成功した。だが、天は十分な準備をして来道した、英国劍橋〔ケンブリッジのこと - 編注〕班、ストランド博士一行の上斜里には一時もコロナを見なかったと。ストランド

博士は、6回の観測中5回まで失敗したのだと涙も出ぬ、悲しみに暮れてる。

6月20日(土)朝予科軍〔川湯から〕帰舎。だが細川、角両君は乳を求めて途中それぞれ釧路、帯広両市に沈没した。

6月21日(日)夕刻、文芸部の本箱出来てくる。夜、文武会洋楽部演奏会が公会堂にあり、桜林、木村両君さる。

6月23日(火)予科チフス注射を強制す。

6月/付箋が邪魔して読めず/日 6月の決算が夕食後行われた。今月は先月の米代の一部/読めず/刺身代が残っていたので1日53銭の高値を示した。

6月27日(土)今年度2回目の、又今学期最後の月次会が行われた。先輩3人ほど見られる筈だったが、お見えにならず、先生と舎生だけで楽しく時を送りました。この会は予科試験激励会もかね、先生からは、先生の学生時代のお話がありました。

#### 81コマ目

会の後で来学期の委員選挙があり次の人が委員になりました。

会計 木村君6票

食事 柳川君10票 辻君6票

文芸 手塚 7票

運動 大坪4 同点 花島君4 花島君辞退

衛生 角 4

猶、大鐘君は今日、登別方面に旅行に向われ、出席しませんでした。

6月28日(日)お昼頃宮部先生の処から、垣根を作るとて爺やが来ました。明日から始めるそうです。昼食後、予科の連中、植物園へ軽い散歩。若松、山根、辻君も一緒に。

7月4日(土)予科試験始まる。

7月9日(木)予科試験終り。「お坊ちゃん」で離別コンパ。大坪君夜9時17分で帰る。この朝、大鐘君9時の急行で帰る。

7月10日(金)朝より梅雨で1日アケル。早朝、長万部廻りで池谷、柳川君帰省。細川、平山、手塚、田原君、朝の汽車でいづれも帰省。

7月11日(土)今日も早朝より角、玉山両君帰省。朝の急行で木村、田村両君帰省。舎内断然淋し。夜遅く平野君旅行より帰舎す。

7月12日(日)早朝、辻君帰省。雨晴れ上がったと思ったが、夕方又時雨る。

7月13日(月)朝植岡君帰る。本日午後晴天なり。

7月14日(火)朝より一日天気よし。夕方の汽車で平野君帰省。

7月15日(水)曇る。植岡君早朝、夕張へ実習に出かく。

#### 82コマ目

8月3日 朝、花島君帰る。

8月4日 朝、山根君帰る。舎内2名、淋し。

8月27日 朝の急行で桜林君帰省す。

8月31日 夜、若松帰省す。舎生全部なし。

9月1日 夜、木村君帰舎す。

9月2日( )朝、木村君島松へ演習に出発す。

9月5日( )昼木村君帰舎す。



9月9日 夜、花島君帰舎。

9月10日(木) 昼、植岡君、大坪君帰舎。夜、田原君、辻君、手塚帰舎。

9月11日(金) 予科始まる。朝、玉山君、角君帰舎。夜、細川君、大鐘君帰舎。

9月12日(土) 夜、田村君、池谷君、柳川君、平山君帰舎。若松君帰舎。

83コマ目 2007.7.7

9月13日(日) 夜、山根君帰舎。

9月14日(月) 2、3日来近所の子供が舎の前の広場へ来て、丁度なつくるみの実を取っている。いろいろといたずらをして困る。

9月15日(火) 一日中曇り。温度もぐっと下った。夕食後、決算あり。7、8月分の食費は意外に高くなった。舎の方から30数円の繰越し〔入れ、か? - 編注〕をしても猶1日65銭である。これから食事部も賄も倏約することに申し合わせた。

9月16日(水) 夕方、舎の最初の副舎長であり且つ舎の創立に与って大いに力あった井街顕氏が来舎されて、舎生一同は食堂に於て色々と有益な懐旧談をなされた。御年60を越えるとの事だが猶矍鑠たるものであった。氏のご健康を祈って止まない。夜、桜林君帰舎。

9月17日(木) 理学部と農学部の身体検査あり。

9月18日(金) 医学部及び予科の身体検査あり。

9月20日(日) よく晴れた暑い日曜日で、舎生で弁当を持って、藻岩山その他の山々へ行く者が多かった。夜、平野君帰舎。これで舎生全部でそろった。

9月21日(月) 総長告諭(大演習に関する)配付さる。

9月22日(火) 大演習に関する諸注意書きが配付された。

9月23日(水) 秋季皇霊祭につき学校は休み。

9月24日(木) 朝、天皇陛下、北海道に向け御出発あそばさる。夜、閑院宮殿下、札幌に御着きになる。幌都ようやく大演習色に彩らる。

9月25日(金) 山根君、病気のため休まる。

84コマ目 2007.7.7

9月26日(土) 本学期最初の月次会開催。宮部先生を始め、奥田、犬飼両先生の来賓をあおぎ、会はいともなごやかに。最大の効果を収めて終わった。委員となられた池谷、平山、角、大坪4君に感謝する。猶本今朝、聖上陛下には、無事室蘭に第1歩を印せられた記念すべき日である。

9月28日(月) ときどき雨が降っては僕らを濡らした。文武会の大本営及び行在所御治定記念絵葉書が配付された。

9月29日(火) 天皇陛下奉迎及び御親閲式に関する予行あり。為に本日は授業なし。

9月30日(水) 昼、山根君、病気のため、中川内科分室12号に入院さる。今日は十五夜で、夜、舎生一同食堂に集まって、おはぎを食べながら愉快地話をした。

10月1日(木) 大元帥陛下大本営入御の日。為に予科は授業なし。明日学部対予科の野球戦があるので、予科軍は桑園グラウンドに於て午前中猛練習をした。

午後4時20分、天皇陛下には無事大本営に入所あらせらる。大学の学生は学内御道筋に整列して奉迎申し上げた。

10月2日(金) 予科軍挑戦の本科対予科の野球戦は午後1時半、桑園グラウンドに於

で行われたが、老練？本科軍には敵しがたく20対9で惜敗した。

本5300741 = 20

予1051101 = 9

猶、色々面倒を見て下さった進修学舎の方に感謝する。

85コマ目 2007.7.14

10月4日(日)夜来の大風(北上してきた颱風)で至る所の大木が折られた。寄宿舍の周りの木もだいぶやられた。又、前の池は水が溢れる許りになった。夜、植岡君、大演習参観に出発された。

10月5日(月)稀に見る快晴。昼、植岡君帰る。

10月6日(火)大演習観兵式拝観のため舎生の大部分は3時頃起床して、暗闇をついて集合地に向った。

夜、奉祝提灯行列あり。7時半頃中島公園を出て市中を行進。行在所前にて遙拝をし、北18条附近で解散。〔行在所(あんざいしょ)は当時北1条西1丁目の豊平館〕

10月7日(水)進修学舎から挑戦されて、我寄宿舍軍、蹶起して野球試合を行ったところ10対8を以て我軍が大勝した。

10月8日(木)飛行場で御観閲を拝受するため学生の大半は午前5時に集合した。又本日は畏くも大学各部に行幸になられるので残余の者は奉迎のため、午後の5時間ほど学内に居た。

10月9日(金)天皇陛下には本日朝、無事大学行在所より還幸あらせらる。〔大学行在所は農学部に置かれた〕

10月11日(日)舎生の寄附によって山根君に果物と菓子を送る。

10月13日(火)午後1時半より中央講堂に於て御下賜金奉戴式あり。

10月15日(木)文武会デー。塩谷温氏の講演「東洋思想と世界平和」。〔塩谷温(しおのや・おん) = 中国思想の研究者〕

10月16日(金)午前中塩谷氏の講演「日本精神と漢学」。夜、文武会の映画デーあり。

86コマ目 / 2007.6.5

10月17日(土)神嘗祭につき授業なし。

10月18日(日)小樽公園グラウンドに於て予科対高商野球戦あり。予科応援団は大挙して小樽に乗込み意気天を衝く。而して4対1を以て予科大勝、雪辱茲ニナル。

10月19日。昨日の応援の休養のため授業なし。夜、田原君帰舎。

10月21日(水)予科2年生、野外教練を行う。

10月23日(金)夜、決算を行ふ。

10月27日(火)夜、ストーブ取付を前にして室の組合せ発表さる(次掲)。

10月28日(水)予科、第2時間目より中央講堂に於て桜星会大会開催。予科の気風に関して談論風発。之に対して藤原主事の答ふるあり。意義ある大会であった。夕食後、各組の室割当てを抽籤によって決定す。一号室...花島君、二号室...柳川君・大坪君、三号室...池谷君・細川君、四号室...大鐘君、五号室...平山君・田原君、六号室...辻君、七号室...桜林君、八号室...田村君・角君、九号室...山根君、十号室...植岡君・玉山君、十一号室...木村君、十二号室...平野君・手塚、以上。

10月30日、夕方からそろ／＼部屋代えをし始めたが、一部に過ぎず。

10月31日、朝来ストーブの据付けを行ふ。夜までに部屋代え全／付箋でじゃま／む  
猶都合上。十一号室...平野君

・手塚、十二号室...木村君／付箋じゃま／ことにした。

11月3日(火)明治節。10時より学校で式挙行さる。加ふるに宮部先生の喜寿の祝  
を兼ねて第39回記念祭を行ふ佳日なり。

本日、陽もうら／＼かなる快晴。2時半過ぎより記念祭式挙行

87コマ目 2007.6.6

宮部先生を始めとして鈴木、前川、亀井、犬飼、笹部、平戸先生の列席を得。

5時より盛大なる晩餐会を行ふ。

定刻7時より余興に入る。次第概ね次の紙の如く。余興部員の熱演により、上首尾に終  
ることが出来た。大凡そ10時。

11月5日、予科の査閲行はる。講評良好なり。

11月8日(日)進修学舎よりの再度の挑戦に応じて、午後1時より工学部前のローン  
に於て野球試合を行ふ。我が軍能く戦ひ、殊に木村、植岡2君の活躍によって遂に16対  
7を以て大勝。敵を再び立つ無からしめた。

11月10日(火)午後七時より支那料理屋竹屋に於て記念祭慰労晩餐会を行ふ。  
／左頁・記念祭余興次第ピラ／余興部員 平山・田村・柳川・池谷・玉山・大坪・手塚・  
田原・南・細川

88コマ目、挿入のプログラム紙 07.6.6.

次第

一、開会の辞

一、挨拶 副舎長 若松不二夫

一、現代劇 国境の夜・秋田雨雀作

一、映 画 宮部先生の御日常

一、劇 It's in the Air. By Byron Morgan

一、踊り 佐渡おけさ・大島おけさ

休憩・茶菓

一、喜 劇 新東京見物・巖谷一三原作・余興部脚色

一、独 唱 桜林 繁

一、舞踊劇 東京音頭・余興部新作

一、寸劇・其の他 来賓の先輩・舎生有志

一、閉会の辞

89コマ目 07.6.6

追記11月9日 夜、第50号記念「楓林」発行、副舎長にわたす。

11月14日(土)夕食後一同食堂に集まる。木村さんより此度の御退舎についてのお  
話があった。予てから聞いては居たけれど、何にしても寄宿舍のため惜むに余りあること  
である。

11月15日(日)午後1時よりピンポン個人トーナメント行わる。2時間余にして遂  
に田村君が優勝した。次点柳川君。又夕食後予科対本科競技をなす。本科軍に利なく、5

対2を以て予科軍の勝ち。夜、猶々木村さんがあちらの舎へ立たれた。

1 1月20日(金)明日行はれる桜星会総務委員選挙立候補応援演説が昨日午後來行はれ、授業時間が大分つぶれた。我が玉山和夫君は弁士の一人として万丈の気を吐いたのである。

90コマ目 07.6.6

1 1月21日(土)予科に於て桜星会総務委員選挙行はる。

本日より植岡さんが十二号室に移られた。

1 1月23日(月)新嘗祭

1 1月24日(火)夕食後11月分決算を行ふ。食費が少し高いようだが、考究の余地あり。

1 1月25日(水)そろそろ予科の試験も間近く、みな勉強しだした。

1 1月28日(土)文武会理事に我が玉山和夫君が立候補された。

1 1月30日(月)文武会理事選挙

1 2月3日(木)朝起きて見ると外は真白な銀世界。然し未だスキーの出来る程ではない。今年は例年より大分遅いと事。

予科では断髪問題に関して生徒幹部連が動き出した。成行きは果してどうなるのか、すこぶる疑問である。

1 2月5日(土)昼から学生ホールでスキー部合宿の打合会有った。舎から池谷、平山、柳川、玉山、田村、植岡及び手塚と7名行く筈である。夜は雪が相当つもったので寄宿舍スロープで皆滑った。蓋し今シーズンの滑初めである。

1 2月7日(月)予科の二学期試験日割、発表せらる。愈々予科生は試験準備に没頭しだした。

1 2月11日(金)昨日・今日は馬鹿に暖かいので、雪も根雪になりかけたのが解けてして街は汚い。

1 2月13日(日)予科の試験も愈々明後日にせまった。この頃勉強で遅くまで起きてるので、深夜にエッセンをつめに出る者、続出。それで今夜10時にしるが出た。又明日から試験シーズン中の夜、夜食の会を開くことにした。勿論費用は自分持ちである。

91コマ目 07.6.6

1 2月14日(月)予科試験準備のため臨時休業。夜遅くまで勉強する予科生のための夜食会を始める。

1 2月15日(火)本日から5日間、予科の第二学期試験行わる。

1 2月17日(木)数日来気温が急に昇って今日などは雨が降る有様。お陰で雪もすっかり解けてしまい、スキーファンの失望する事/\。

1 2月18日(金)午後、久しく入院されていた山根さんが帰舎された。

1 2月19日(土)予科の試験が終る日。学生等の喜び何ぞこれに勝るものあらん。而も降り積もる雪!雪!昨日来降り続けた雪は一日やまず、終に6寸に達した。きづなを解かれた我等は雀躍してスキーをたずさえて円山に進出。

又喜びの心を胸にかくして故郷に帰る者も居る。即ち大坪君は午後4時の汽車で、細川君は午後9時の汽車で、それぞれ久しく見ざりしなつかしの山川へ帰って行かれた。舎に帰る我等の羨望も亦大きい。

夜7時過ぎ明菓で離別コンパを行ふ。〔明菓 = 明治製菓パーラー〕

試験でしばられていた心を今解いて、お互いに苦心を話し合う喜びは、学生のみが味わうことの出来る感興であらう。

又来学期の各部委員の選挙をなす。

会計部 植岡君(10表)〔次点 花島君(4表)〕

食事部 大鐘君(8表)・平野君(6表)〔次点 池谷君(5表)〕

文芸部 細川君(9表)〔次点 花島君、池谷君、大鐘君(2表)〕

運動部 田原君(7表)〔次点 平山君(4表)〕

衛生部 田村君(5表)〔次点 平野君・玉山君(3表)〕 以上。

#### 92コマ目 07.6.6

12月20日(日)昨日の雪は昨夜中降り続いて、尺余の雪ふとんをなし、而も今日日曜は、一点の雲もない快晴。副舎長を始めとして、舎生はうちそろって円山へでかけた。夜9時の汽車で角君帰省。又その後で花島君は山岳部合宿に向かわれた。

12月21日(月)朝からストーブの煙突掃除をなす。

12月22日(火)植岡、田村、平山、池谷、柳川、玉山、手塚の7名揃ってスキー部の合宿に向う。斯かる大量参加は一寸前例がないだろう。為に俄然舎内、火の消えた如く静かになる。

12月23日(水)夜、決算を行う。終って特別室で在舎生一同で遅くまでコンパをやり駄弁る。

12月24日(木)桜林君、無意根岳へ出掛ける。夕方スキー部合宿に参加の平山君、スキーを折って悄然と帰って来る。

12月25日(金)夜、桜林君スキーから帰ってくる。

12月26日(土)張学良の為に西安に監禁されて居た蒋介石、無事救出されて洛陽へ帰るの号外出る。運の強い男である。与論の赴く処には張学良も如何とも出来なかったと見える。問題は中央側が張学良の連ソ容共、対日即時宣戦等の条件を何の程度に容れたかにある。〔張学良 = 満州地方の馬賊だった張作霖の長男、1901年生。抗日を目標に中国国民党と共産党の合作を蒋介石に迫った。〕

12月27日(日)朝の急行で大鐘君帰省。歳の市で街は随分賑からしい。

12月28日(月)花島君、夕方十勝より帰って来る。

12月29日(火)朝の急行で花島君、桜林君帰省。夕方スキー部の合宿から田村・池谷・玉山・手塚の諸君帰って来る。可なり降雪あり。平野・平山両君は午後から円山へ出掛ける。合宿帰りは顔が雪焼けして黒い。

#### 93コマ目

12月30日(水)今日も合宿帰りは張り切って円山へスキー行。平山君頑張り過ぎで腰を打って帰る。夜、玉山君帰省。若松君の誕生を祝し、特別室で在舎生集まりトランプに興ず。

12月31日(木)例により年越し蕎麦を食べてから一同、『丹下左膳』を観に日活館へ行く。想えば昭和11年は多事多端であった。公的にも私的にも。除夜の鐘を聴きながら寝につく。〔丹下左膳 = 1933年以降シリーズで毎年制作されていた人気映画〕